

四日市版コミュニティスクール報告書（平成29年度総括）

四日市市立泊山小学校
校長 門脇 秀源

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

平成29年4月 本校泊山小学校は、四日市市教育委員会から四日市版コミュニティスクールの指定を受け、「泊山小学校運営協議会」（以下運営協議会）を発足させました。

学校づくりビジョンに掲げた学校教育目標「共に学び、共に生きる」子どもの育成のため、学校を御支援いただいている保護者や地域の方々の活動を継続・発展させ、学校教育の一層の充実を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

（1）運営協議会

運営協議会は、これまでの学校づくり協力者会議を母体とした発展的組織として、学校評議員、自治会代表、主任生児童委員、PTA 代表等、7名で構成しています。ここに、学校関係者が加わり、年間5回程度の会議を実施し、保護者や地域住民の学校教育活動への参画のあり方を協議するとともに、保護者や地域住民の具体的な取組内容や時期等について調整を図っていきます。

今年度は、発足初年度のため、学校教育目標、めざす子どもの姿・めざす学校の姿の協議を行い、理解を求めるとともに、「学力向上」「安心・安全」等学校教育活動に関わる様々な分野をテーマに話し合いを行ってきました。



（2）教育活動の実践事例

運営協議会（組織）として、また委員として個人的にも特色ある教育活動を支援していただきました。（代表的な活動）

梅ちぎり

図書館ボランティア読み聞かせ



日永地区ふれあい祭り参加

梅まつり参加（写真は H28 年度）



地域連携防災教育(写真・・・5年生)



また先進校「四日市市立中部西小学校」を訪問。今後の運営協議会の推進に大いに参考になりました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

前述の通り、これまで本校で行なわれてきた地域教育資源を生かした特色ある教育を今年度も継承しつつ、さらに発展させることができました。

また学校運営の現状を参観や各種報告を元に理解を深めていただき、適切な助言をいただくこともできました。(例・・・図書館の郷土に関する本・資料の充実を図るとよいつの意見をいただき、予算を配分。郷土本コーナーを設置しました。

総合的な成果の例として、学校評価・児童アンケート「学校は楽しい」の肯定的な回答は93%。また同じく児童アンケート「学力向上」においても「宿題は忘れずに、きちんとしている」の肯定的な回答が89%となりました。

またこれらの相乗効果として、NRT検査や全国学力・学習状況調査等において一定の成果を上げることができています。

一方、保護者においても学校評価・保護者アンケート「子どもが学校に楽しく登校している」の肯定的な回答も93%の結果をいただきました。

3 今後に向けて

来年度は、前述の児童アンケートで肯定的な回答をできなかった子供たち（本校は記名式）に一層の働きかけと支援等を行うことで、「安全・安心」な学校づくりをさらに進めていきたいと考えています。

そのためにも、コミュニティスクールとして、地域の人的資源の支援をいただけるよう仕組みをさらに整えていきたいとも考えています。

平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 泊山小学校

委員長 小松 泰敏

校長 門脇 秀源

4			
5	17	第1回 運営協議会	校内参観 学校づくりビジョン承認
6	27	第2回 運営協議会	校内参観 1学期地域学習等報告
7			
8			
9	23		運動会参観
10			
11	22	第3回 運営協議会&先進校視察	先進校視察（中部西小）
12	5	第4回 運営協議会	校内参観 2学期地域学習等報告
1	26	第5回 運営協議会	校内参観、年間活動総括及び学校関係者評価
2			
3	20		卒業式参列